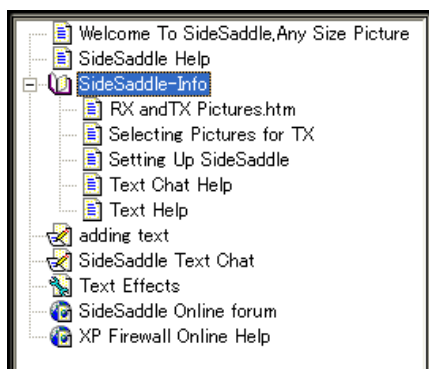


「SideSaddle V 5」 + 「TE : TextEffect」 + 「Pryme」
 (07-JUN-2004 現在)



・「Help」

* [Index](#) : 目次



- ・ [WellcomeTo SideSaddles, Any Size Picture](#)
- ・ [SideSaddles Help](#) : ヘルプ
- ・ [SideSadlle- Info](#) : 情報
 - ・ [Rx and Tx Pictures.htm](#) : RX と TX 画像
 - ・ [Selecting Pictures for Tx](#) : TX 画像の選択
 - ・ [Setting Up SideSaddles](#) : セットアップ
 - ・ [Text Chat Help](#) : テキストチャットヘルプ
 - ・ [Text Help](#) : テキストヘルプ
- ・ [adding text](#) : テキスト書き込み
- ・ [SideSaddle Text Chat](#) : テキストチャット
- ・ [Text Effects](#) : 「TE」: テキストエフェクト」
- ・ [SideSaddle Onlain forum](#) : オンラインフォーラム
- ・ [XP Firewall Online Help](#) : オンラインヘルプ

・ [Wellcome To SideSaddles](#) : ようこそ「SideSaddle」へ

・ 「Sidesaddle」は、作業の途中のものです。

この仕事は、ネット上で、どんなサイズや縦横比の画像でも送信できることという単純な哲学から始めました。

このプログラムは、プロのコードライターでは構築されていません。

しかし、私自身のような「アマチュアラジオオペレーター」と他の「電子熱中(道楽)者」によって作られました。

このプログラムのコストは、「ゼロドルとゼロセント」です。

そして、これは、世界中のファンによって作られたのですから、この価格で適切です。ご覧いただけるすべての画像は、ほとんどがニュージーランドのジョーによって設計されました。

私はプログラムを作動させる内部のコーディングの多くを担当しました。

最初の不十分なテストから、問題の修正を手助けしてくれた熱心な「ベーターテスター」がいます。

ウエスト・ヴァージニア、Parkersburg の KO8OK。

オハイオの WW8MM。

ウエストバージニアの KC8VSS。

カリフォルニアの N6QDY。

フロリダのフランキーに深謝します。

- ・ヘルプファイルプログラムは、イギリスのカンタベリーからデイビッド、2E1EHM が作ってくれました。

このボランティアのみなさんが、このプログラムを作動させることのために、時間と努力を投入しました。

提案は正しく評価されます。もしヘルプが必要なときは、「ヘルプフォーラム」をチェックしてください。

すべての新しいプログラムのように、ヘルプファイルは、若干遅れる傾向があります。この仕事の進行につれて、プログラムのこの領域が年ごとに改善されていくように望んでいます。

幸運を祈りつつ、健康を願い、 73

Dan, WB5HKK

* SideSaddle ヘルプ

この画像のボタンの上をマウスで走らせると、ヘルプが「テキストメッセージ」で表示されます。(「マウス」を当てると「ヘルプ」がポップアップします) ボタンをクリックすると、他の「ヘルプページ」に移ります。



- ・ここをクリックして「ダウンロード」します。

- SideSaddle で画像を受信するには、TCP ポートの 27224 と 27225 を開く必要があります。
- (訳注 : 「 Windows XP 」 のファイアウォールの設定が完成しないと、送信専用 (?) になります。
「 ローカルエリア接続のプロパティ 」 の 「 詳細設定 」 で、 「 サービス設定 」 の 「 ポートの設定 」 を追加してください。)

* SideSaddle - Info : 情報

- [Rx and Tx Pictures.htm](#)



- **TX RX** : TX または RX を見るにはどちらかを選びます。
両方とも見るときは 「 **Thumbnails** : サムネイル 」 を選びます。
- **Auto** : TX から RX に自動的に切り換わります。
- **Big Picture** : RX 画像を最大画面で見るときに、これを選びます。
マウスの左側ボタンをクリックすると最大画面になり、右側ボタンでもとに戻します。
- **Copy** : 「 TX 」 ・ 「 RX 」 画像を 「 クリックボード 」 にコピーします。
「 TE : テキストエフフェクト (画像処理) 」 に運びます。
- **Paste** : クリップボードの画像を貼り付けます。
「 TE 」 でテキスト処理した画像を 「 TX 」 画面に貼り付けます。
- **Forward RX** : 「 RX 」 画像を 「 TX 」 画面に取り込みます。
送られた画像を、他の誰かに送りたいときには、送りたい局をクリックして、 「 Forward RX 」 ボタンを押します。
- **Save** : 受信画像をセーブ (保存) します。
「 Auto save 」 を on にしていないときに、この選択で 「 受信画像 」 を 「 セーブ 」 できます。
- **History** : あなたの 「 History ホルダー 」 にあるサムネイルを見る 「 プログラム 」 を起動します。「 History 」 ボタンを右クリックすると、「エクスプローラー」で「History」ホルダーが開きます。
- **Delete** : このボタンで、「History」ホルダーや他のすべてのホルダーで選択して「ハイライト」にしたファイルを削除します。

「Autosave」にチェックをつけているときに、受信した「Last picture」を保存したくないときは、「delete」ボタンを押します。

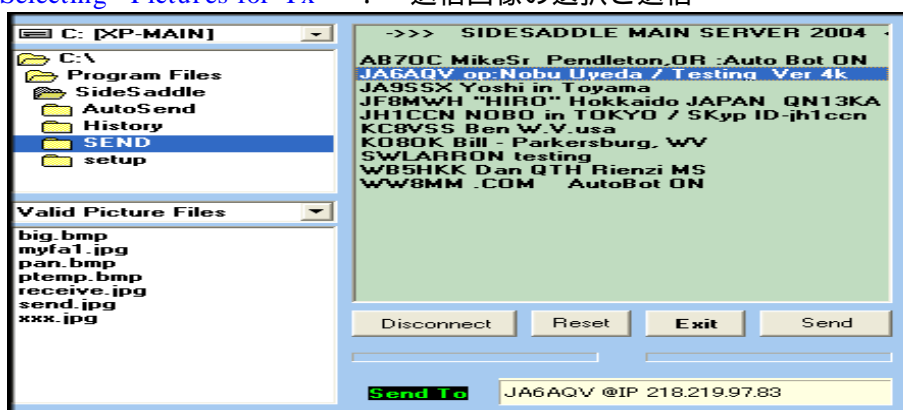
- ・ **RX Info** : 送信者の IP と最新の RX 画像の IP アドレスとコールサインを表示します。
「最新の受信」を一度クリックすると、ウインドウから「Text Effects」
「text box」にコールサインをコピーできます。
右クリックして「paste」を選択して、「apply」を押します。

- ・ **File RX TX Info** : ファイル RX TX 情報。
ファイル情報。名前。サイズ。フォーマットが分かります。



- ・ 「Auto Replay Bot」: 自動転送 Bot
自動的に画像を転送することを可能にします。
このためには、最初に、Cドライブでプログラムの「SideSaddle」ホルダーを探します。 その中にある「Auto Send」がこれです。
このホルダーに自動転送する画像ファイルを取り込みます。
これには、送る順に「1 ---100」の順版を付けてリネームします。
そして「Auto Replay Bot」にチェックを付けます。
- ・ 「Auto Reply IP」: 自動転送 IP
このチェックを削除すると、あなたが選択した唯一の局とだけコンタクト(接続)出来ます。
「メインウインドウ」には「あなたのメッセージ」として「Tx Rx BusyThankyou」が自動的に表示されます。
このボックスにチェックが戻されたときは、「メッセージ」はもとに戻り、リストにある誰とでも画像の送信が出来るようになります。
- ・ 「Auto Save to History」: 「History」へオートセーブ。
受信した画像を、「History (履歴) フォルダ」に自動的にセーブする時は、ボックスに「チェック」します。
- ・ 「Rx PopUp」: このボックスにチェックしてあるときは、受信された画像が
「Big Picture : ビッグ画像」ウインドウに自動的に表示されます。

* **Selecting Pictures for Tx** : 送信画像の選択と送信



• **Main Window : メインウインドウ**

送信する画像を選択した後で、あなたが送信したい人をクリックしてから、「Send」ボタンをクリックしてください。
メインスクリーンで、マウスの左側ボタンをクリックすると、大きな画面が作られます。そこで、他人からの「テキスト」を読むことができます。
そして、小さな画面にするためマウスを解放します。
TX ウィンドウに画像があるときは、画像を送信したいコールサインをマウスで左クリックしてから、右クリックで送信します。

• **Disconnect** : デイスコネクト

サーバーからログオフして、接続を切ります。

• **Reset** : リセット

TX とRX ウィンドウの両方をクリアし、サーバーもリセットします。

• **Exit** : プログラムを 終了します。

• **Send** : 画像を送信する時にここをクリックします。

• **Drive** : 送信したい画像があるドライブとフォルダーを選択します。

• **Valid Pics** : 適切な画像。送信したい画像のフォーマットは、jpg か bmp のどちらかだけを選んでください。

• **Disconnect** : デイスコネクト (サーバーからログオフして、接続を切ります)

• **Send To** : ここにはコールサインと彼らのIPアドレスが表示されます。
ファイルが「送られた」か、「失敗した」時は、下の「ボックス」に表示がされます。

• **In Out Display** : 入出力表示

画像が「来たとき」や「送られた」時に表示されます。

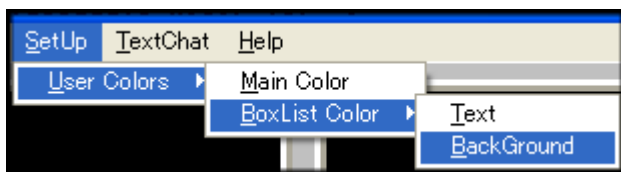
* 「**Menu : メニュー**」

1. 「**File : ファイル**」

ここで「Side Saddle」プログラムを終了し、閉じます。

2. 「**Setup : セットアップ**」

ここで「Side Saddle」の表示色の選択が出来ます。



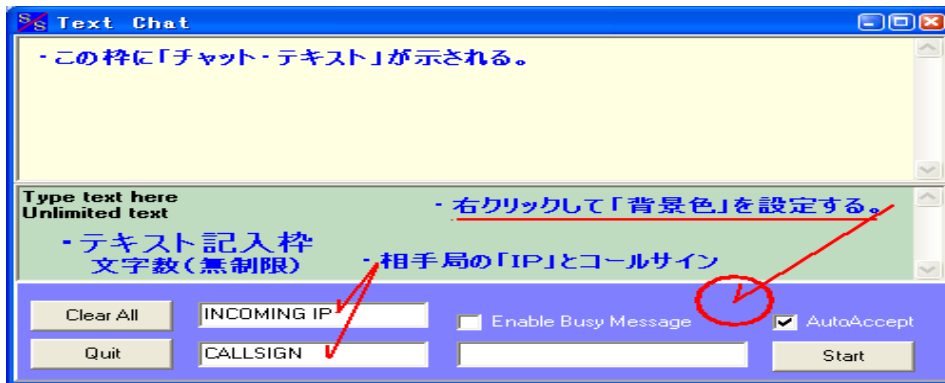
- *メニューの「Set Up」で「User Color : ユーザーカラー」を開いて、
 - 「Main Color (メインカラー): 画面のメインカラー」を「色見本」で選択します。
 - 「Box List Color (リストボックスカラー)」: コンタクト局リストボックスの色を選択します。
 - ・「Text (テキスト): コンタクト中の局の情報表示の色」
 - ・「Back Color (バックカラー): 背景色」

- ・ **Send and Recieved Windows** : 送信・受信ウインドウ
 - 「TX」ウインドウは、あなたが送信する画像をロードし、
 - 「RX」ウインドウは、あなたが受信した画像が表示される場所です。
 - 「TX」ウインドウに画像があるとき、「TX」ボタンをクリックすると、画像が拡大されます。受信された画像も同じようにできます。
 - それぞれから、二つのウインドウに戻すには、「**Thumbnails** : サムネイル」ボタンをクリックするか、「マウスホイール」を前方に動かします。
- ・ **Callsign** : コールサイン
 - ここには、あなたの有効な「ハムまたはSWLのコールサイン」を登録します。
 - もし、SWLの時には、SWLコールに名前か任意のナンバーのどちらかを付けることが好ましいです。例えば、SWL9432, SWLbill
- ・ **1 To 1 IP** : ワン (One) ツー ワン) I P
 - ここには、あなたが選択した「送信する局」のIPが表示されます。
 - 「1 to 1 IP」ボックスを**左クリック**すると、「赤色」に変わり、「**AutoReply IP**」ボックスのチェックが削除されます。
 - 右クリック**すると、「AutoReply IP」ボックスのチェックが置き換えられます。
 - 「1 To 1 IP」が**緑色**であるとき、誰からでも画像を受け取ることが出来ます。
- ・ **On- line, Off-line**
 - これで、あなたが「サーバー」に接続しているかどうか分かります。
- ・ **Comment** : コメント
 - ここには、あなたの名前やQTHなどどんなコメントでも記入できます。
- ・ **Server** : サーバー
 - もし、「メインサーバー」がダウンしているときは、代替りの「サーバー」を選択してください。
- ・ **Server Display** : サーバーディスプレイ
 - ここには、「SideSaddle」で使える異なる「サーバー」が表示されます。
 - これで、あなたが選択した「サーバー」と接続できます。
 - それから、「refresh : リフレッシュ」ボタンで切り替えます。

- それで、誰が「オンライン」しているかを見るために「サーバー」リストを
- ・「Connect : コネクト」(接続)
これをクリックすると、あなたが選択したサーバーにコネクトします。
このボタンは、誰がオンラインしているかを見るために、「サーバーリスト」をリフレッシュすることが出来るように「refresh (更新)」ボタンに変わります。

3. 「Text Chat : テキストチャット」

- ・メニューの「Text Chat」を押すと、「テキストチャット」ボックスが開きます。



次の手順で実行します。

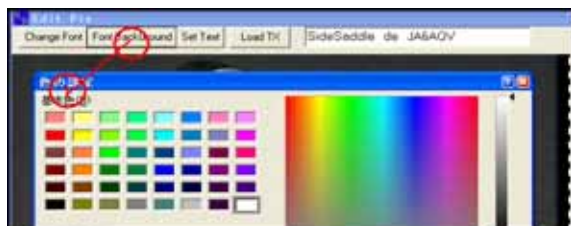
- ・メニューの「Text Chat」を押して開きます。
- ・「Start」を押します。
- ・送信文の「テキスト」を下の「枠」に、記入します。
- ・「局リスト」から「局」を選択して、「Send」を押します。
上の「枠」に、送信文・受信文が表示されます。
- ・「チャット」をします。
- ・「Quit」: 終了します。
- ・「Clear All」: 「テキスト枠」の内容をすべてを消去します。
- ・「受信ウインドウ」: 送信・受信した「メッセージ」が表示されます。
- ・「送信テキストウインドウ」: 送信したいテキスト (最大 154 文字) をここに記入します。
- ・「Text send ボックス」: 「ユーザーリスト」から希望する局を「クリック」して、「Send」をクリックします。
- ・「背景色の変更」: 背景色を (最初の) 黒色から変更するには、「カラーパレット」を呼び込むために「黒色」のどこかの場所を右クリックします。
「テキスト色の変更」: テキストを右クリックして「テキスト」カラーを変更する「パレット」を取り出します。
- ・「Clear All」: テキストウインドウが一杯になったら、「Clear All」ボタンを押すことを忘れないようにしてください。
- ・「Quit」: テキストチャット機能を終わります。

- 「RX Text ボックス」:
2つのボックスには、テキストを送信する「IP アドレス」と「コールサイン」が表示されます。
「Auto Accept」が「チェック」されていないと、「IP とコールサイン」は変わりません。
 - 「Enable Busy Message」: 「ビジーメッセージ」を有効にします。
このボックスに「チェック」して、「Sorry Busy」とか、あなたが選んだ何かの短いメッセージを下のボックスに書き込んでおきます。
あなたにテキストを送っている皆が、そのメッセージを受け取ります。
そして、あなたの「チャットボックス」は開きません。
 - 「Auto Accept」: 自動受信
これがチェックされていなくても、誰からのテキストが受信できます。
チェックされていないときは、A局があなたにテキストを送り、それからB局があなたにテキストを送ってくると、テキストチャットを続けるために、「コールサインリスト」からA局を選択できません。
 - 「Start Text」: テキスト開始。
テキストを送るためには、どんなテキストでもタイプする前に、「start」ボタンを
 - 「Send」: このボタンで送信します。
- * Text help : テキストヘルプ



- 「Valid Pictures」(トップスクリーン中央の下部)
送信したい画像を見つけて、「ファイル名」をダブルクリックすると、「Text Editor Windows」がポップアップします。
画像に選択したテキストを書き込めます。
- 「Edit Pix」ウインドウにある「ボタンの選択」は次の通りです:
 - 「Change Font」: フォント変更
このボタンで「フォント選択画面」を開いて、フォントの「色・スタイル・サイズ」を変更して選択します。

- ・「Font BackGround」: フォントの背景色
このボタンで「カラーパレット」を開いて、フォントの背景色を選択します。



- ・背景色を削除して、透過型テキストに戻すには、「Font BackGround」ボタンを右クリックします。

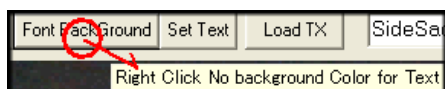


- ・「Set Text」: テキスト固定
ボックスにテキストをタイプしたら、テキストを取り込むために画像上を左クリックします。
場所や見栄えが良くないときに、もう一度やり直すには右クリックして削除します。
場所や見栄えが万事好みになったら、画像上に保存するために「Set Text」をクリックします。
他のテキストや他の行に追加する時は、同じ手順を繰り返します。

- ・「Load TX」: TXへロード
テキストの書き込みがすんだら、このボタンをクリックして、送信するために「TX」ウインドウに画像をロード(転送)します。

- ・「Fit to Window View」: ウインドウに画像の表示を「フィット:(定着)」させる。
このボックスに「チェック」すると、大きい画像がこのウインドウの中に表示されます。
サムネイルを見るためにこのボックスに「チェック」しているときは、画像の品質が低下されることに注意してください。

- * 「SideSaddle adding text」:
この画像の「ヘルプ」を見るためには、「Font BackGround」ボタンの上にマウスを置くとテキストメッセージが表示されます。



ボタンをクリックしたら、他のページが開きます。

* 「SideSaddle TextChat」

SideSaddle は、画像の交換と同時に「テキストチャット：文字会話」ができる最初のプログラムです。

これを働かせるには、「TCP ポートの 27225」を開いてなければなりません。

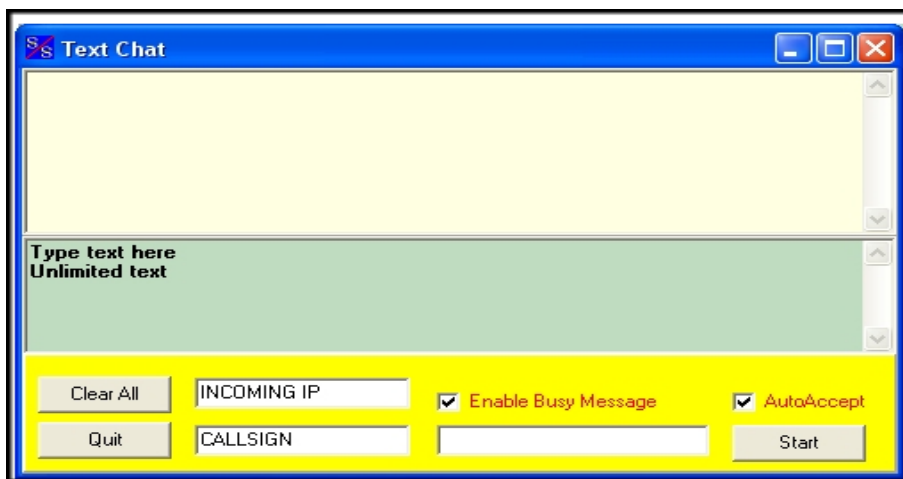
下に見られるテキストチャットボックスを開くには、メインスクリーンから

「TextChat」ボタンを選択してください、

そこから、テキストを「ユーザーリスト」から選択した「コールサイン」あるいは「SWL」宛に送ることができます。

この画像のヘルプを得るには、「短いテキストメッセージ」が表示されるまで、その上でマウスを動かしてください。

そして、テキストボックスのより多くの情報のある「他のヘルプページ」を得るには、マウスボタンをクリックしてください。

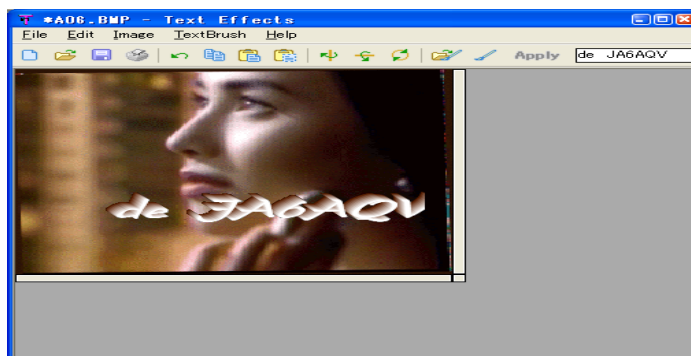


* 「サイドサドル」と「テキストエフェクト」

・ SideSaddle と「TE」

「TE = Text Effects」は、「SideSaddle」で良好に働きます。

これは、画像に通常のテキストと同じように「3D テキスト」を書き込むことができます。



これには、「コピー・アンド・ペーストの方法」を学習することがすべてです。

(訳注 : これは、他のプログラム「[SSTVPalMultiMode](#)」・「[MMSSTV](#)」などにも
適応できるということです。)

- ・まず、「Text Effects」で画像を選択します。
画像のあるディレクトリを探します。
その中の一つを選んで、メインウィンドウに送ります。
プログラムで、640 x 480 の画像に拡大されたものであれば、
フルサイズに拡大して見るべきです。
- ・次に、「[Textbrush](#) : テキストブラッシュ」を開きます。
「[Properties](#)」を選んで、クリックして開きます。
ウィンドウの上右部で、希望する「フォント」・「カラー」・「サイズ」を選択でき
ます。
* マウスでクリックすると「色設定画面」が開きます。
* 左マウスを押さえたまま、コンピューター画面上の色にドラッグするとその色
を取り込みます。
「SideSaddle」で、画像に適した正しい大きさのフォントを得るために、
最良で、好みのサイズを試してみてください。
例えば、画像のサイズが 320x240 ではフォントは 22 , 800x600 では 36、
1024 x 768 では 36 , など。
- ・「[Properties](#)」の画面に戻って、「[画像](#)」への書き込みの処理をします。
- ・画像にテキストの書き込みを終えるには、「[Copy](#)」ボタンを押してクリップし、
「[SideSaddle](#)」プログラムに戻って、「[Paste](#)」ボタンを押して「TX」に貼り付けます。
- ・仕事が終了します。

* 「テキストエフェクト」をダウンロードするには、[ここをクリック](#)します。

Copyright c 1997-2004 Blaiz Enterprises All Rights Reserved.

Company name and all products are intellectual property,

copyrights and trademarks of Blaiz Enterprises

・ [SideSaddle Onlain forum](#) : オンラインフォーラム

・ [XP Freewall Online Help](#) : オンラインヘルプ

(以上)

(参考資料)

* 「Text Effects」について。

- ・ Text Effects は完全に機能するプログラムです。
- ・ [インストール](#)とか[セットアップ](#)はありません。
- ・ Text Effects は、既存のコンピューターファイルとかライブラリーを更新したり、変更することはありません。
- ・ [Blaiz Enterprises](#) は、この重大な機能にプライドを持っています。
- ・ 特別な Web の 画像/挨拶状/ロゴ のための素晴らしい 3D、マルチカラー、陰影、回転文字、が作れます。

・ 特徴 :

- ・ テキストの陰影 (奥行き・アングル・多色)
- ・ テキストの回転 90, 180, 270 度
- ・ テキストの横書き/縦書き/転回/鏡効果/反転。
- ・ パラレル処理ダイアログボックス。
- ・ リアルタイムでの画面の色彩の取り込み - クリックとドラグ。
- ・ リアルタイムでの素早い サイズ/フォント 表示。
- ・ 超大のフォントサイズ選択。
- ・ 画像の フィット/レサイズ してのペースト
- ・ 背景色の定義が可能。
- ・ 画像を 25 %ごとに拡大・縮小。
- ・ レサイズ/反転/ミラー/逆転/転回 左右に 90 , 180 , 270 度。
- ・ 陰影 ライト/影 薄暗い/ゆがみ。
- ・ 多数の画像フォーマット (BMP・最適の JPG、JPG、ICO
- ツルカラー 濃いと透明、PPM,PGM,PBM,XBM,TEP,OMI)
- ・ 42 例の「Text Brushes : テキストブラシ」の作動。
- ・ オープン画像と「テキストブラシ」のコマンドラインパラメータ
- ・ プリント - 画像プリンターが必要。
- ・ 「Animated ArtCard Creations」と「Snappy PhotoCard Creator」の補足ツール。
- ・ 手ごろである。
- ・ 完全なヘルプ。
- ・ 他国語のインターフェイス。

サポートされた言語の選択のための「選択言語」を参照のこと。

「TextBrushs」は、あなたの「スタート」ボタンから開始されます・・・。

Start > Programs > [Blaiz Enterprises](#) > TextBrushs

「Text Effects」は、あなたの「スタート」ボタンで開かれます。

Start > Programs > [Blaiz Enterprises](#) > Image Tools

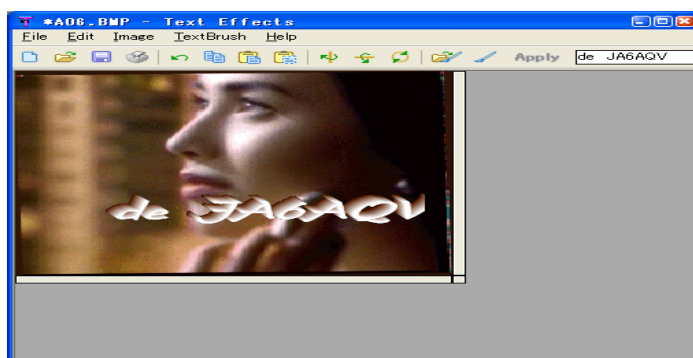
- ・ 出版 : PC Magazine February 2002 Edition (Italy) and accompanying CD ROM of "150 indispensable programs"
Creating Web Pages For Dummies, 6th Edition, March 2002 and accompanying

- * Text Effects : 「テキスト・エフェクト」(プログラム)
「TE」は、 <http://www.blaiz.net/> [Blaiz Enterprises](http://www.blaiz.net/) から探して、
直接には、 <http://www.blaizgraphics.net/TE.ZIP> でダウンロードできます。



- ・ SideSaddle と「TE」

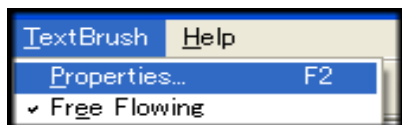
「TE = Text Effects」は、「SideSaddle」で良好に働きます。
これは、画像に通常のテキストと同じように「3D テキスト」を書き込むことができます。



これには、「コピー・アンド・ペーストの方法」を学習することがすべてです。

(訳注: これは、他のプログラム「SSTVPalMultiMode」・「MMSSTV」などにも
適応できるということです。)

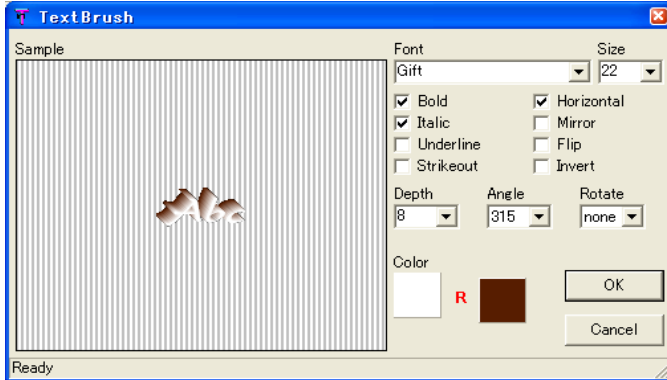
- ・ まず、「Text Effects」で画像を選択します。
画像のあるディレクトリを探します。
その中の一つを選んで、メインウィンドウに送ります。
プログラムで、640 x 480 の画像に拡大されたものであれば、フルサイズに拡大して見るべきです。
- ・ 次に、「Textbrush : テキストブラッシ」を開きます。



「Properties」を選んで、クリックして開きます。

ウインドウの上右部で、希望する「フォント」・「カラー」・「サイズ」を選択できます。
 (「Sample」画面に、すぐに反映します)

- ・ Font (フォント)
 - ・ Size (サイズ)
- ボタンで開いて選択します。



- ・ チェックボックスにチェックマークを付けて選択します。
- ・ Bold (太字) ・ Horizontal (横書)
- ・ Italic (斜体) ・ Mirror (鏡反映)
- ・ Underline (アンダーライン)
- ・ Flip (上下反転)
- ・ Strikeout (貫通線)
- ・ Invert (色の反転)

- ・ Depth (影の幅)
- ・ Angle (アングル: 角度)
- ・ Rotate (回転角)
- ・ Color (前面色)
- ・ R (背景色)

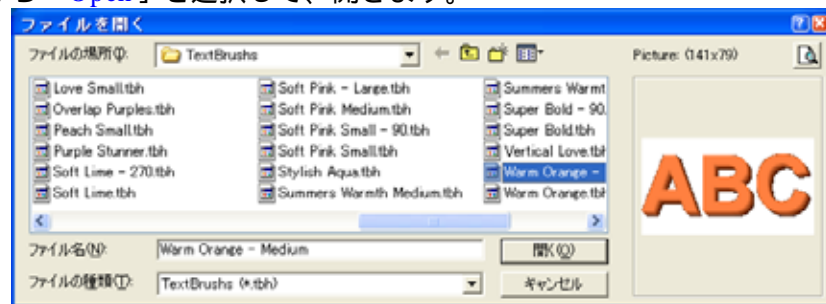
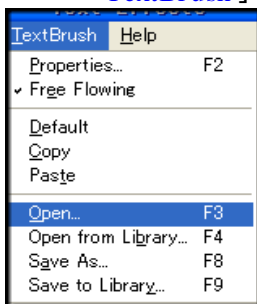
* マウスでクリックすると「色設定画面」が開きます。

* 左マウスを押さえたまま、コンピューター画面上の色にドラッグするとその色を取り込みます。

「SideSaddle」で、画像に適した正しい大きさのフォントを得るために、最良で、好みのサイズを試してみてください。

例えば、画像のサイズが 320x240 ではフォントは 22, 800x600 では 36, 1024 x 768 では 36, など。

- ・ 「TextBrush」から「Open」を選択して、開きます。



- ・ 画像に書き込む「書体」の選択をします。
- ・ ファイルを選択して好みの「書体」を選びます。
 (右のサンプル画面に表示されます。)
- ・ 「開く」で決定します。



*

「Properties」の画面に戻って、「画像」への書き込みの処理をします。

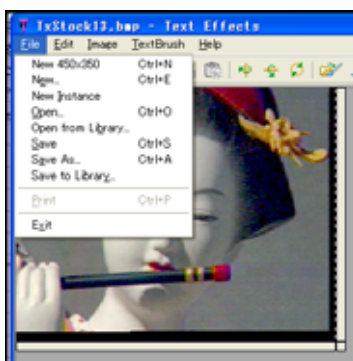
- ・画像にテキストの書き込みを終えるには、「Copy」ボタンを押してクリップし、「SideSaddle」プログラムに戻って、「Paste」ボタンを押して「TX」に貼り付けます。
- ・仕事が終わります。

* 「メニュー・コマンド」

取り込んだ画像の加工処理は、メニューコマンドからできます。

(コマンドやショートカットなどの作動は、他の「画像プログラム」と同じです)

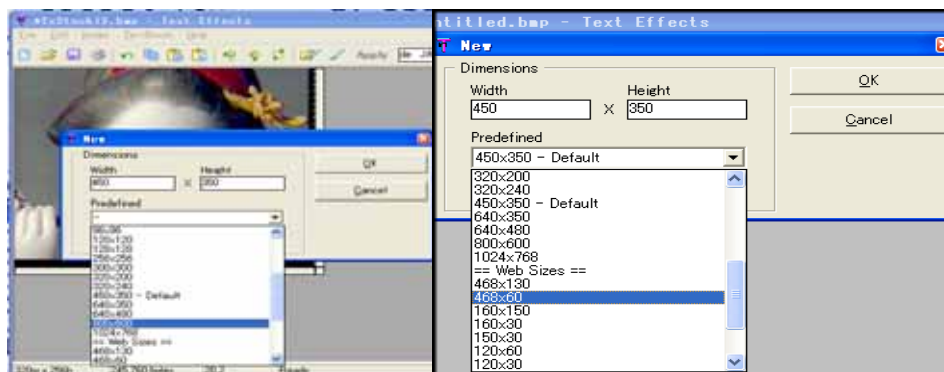
・「File : ファイル」



- ・New 450x350 : 新しく 450 x 350 にサイズ。
(このサイズがデフォルトです)
- ・New : 開いて「幅と高さ」を選択する。
- ・New Instance :
- ・Open : 画像のホルダーを開く。
- ・Open from Library : ライブラリーから開く。
- ・Save : 保存する。
- ・Save As : 名前を付けて保存する
- ・Save to Library : ライブラリーへ保存する。

- ・Print : 印刷する。
- ・Exit : 終了する。

・「New」で開いた画面で、画像をサイズします。

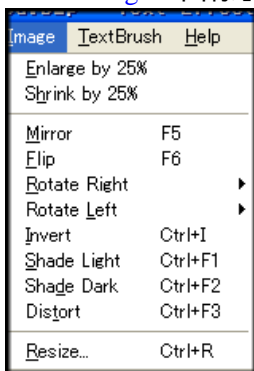


・「Edit : 編集」



- ・ Undo : 取り消し。
- ・ Cut : 切り取る。
- ・ Copy : コピーする。
- ・ Paste : 貼り付ける。
- ・ Paste to Fit : 画面にフィットするように貼り付ける。
- ・ Clear : クリアーする。
- ・ Back ground Color : 背景色の設定。
- ・ On Top : 画面を常時前面に表示する。

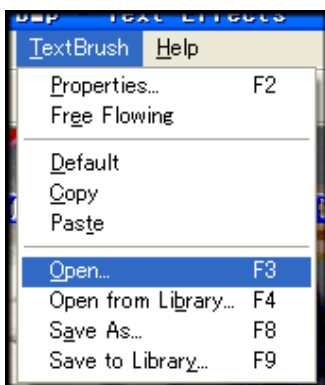
・「Image : 画像」



- ・ Enlarge by 25% : 25%の拡大をする。
- ・ Shrink by 25% : 25%の縮小をする。
(クリックするごとに継続して作動します)
- ・ Mirror : 鏡(ミラー)効果、左右反射。
- ・ Flip : 宙返り、上下で反転。
- ・ Rotate Right : 右方向へ回転(90, 180, 270度)。
- ・ Rotate Left : 左方向へ回転(90, 180, 270度)。
- ・ Invert : 色彩反転。
- ・ Shade Light : 明るい陰影。

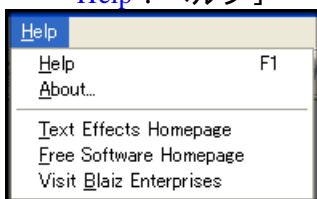
- ・ Shade Dark : 暗い陰影。
- ・ Distore : 歪み。
- ・ Resize : レサイズ。

・「Text Brush : テキストブラシ」



- ・ Properties : フォントの選択画面を開く(既述)。
- ・ Free Flowing : 画像へのテキスト貼り付け状態を設定。
(チェックをはずします。テキストをマウスで押さえて、好みの位置へ移動できます)
- ・ Default : デフォルト
- ・ Copy : コピー (クリップボードへ)
- ・ Paste : ペースト(クリップボードから)
- ・ Open : 「TextBrush」選択画面を開く(既述)。
- ・ Open from Library : Library から開く。
- ・ Save as : 名前を付けて保存する。
- ・ Save to Library : Library へ保存する。

・「[Help](#) : ヘルプ」



- ・ [Text Effect](#) Homepage : 「TE」のホームページにリンク。
- ・ [Free Software](#) Homepage : フリーソフト HP へのリンク。
- ・ Visit [Blaiz Enterprise](#) : Blaiz Enterprise へのリンク。

* 「[HELP](#)」の要点。

・「[File -> New](#)」

キャンバス(画面)の幅と高さを(デフォルトの「幅 450 x 高さ 350 ピクセル」)指定された「新しい広さのウインドウ」で表示します。

「Predefined : 定義された」ドロップダウンリストで、素速い「[サイズ選択](#)」ができます。

・「[background](#) : 背景」のためのいくつかの異なる選択があります :

1. セーブされている背景画像を「[File -> Open](#)」で開きます。
画像を選んで「Open」をクリックします。あるいは、
2. 「[ブロック背景色 \(画像ではない\)](#)」を「[Edit -> Background Color](#)」を選びます。
(カラーダイアログが表示されます。)
色を選択して、「OK」をクリックします。画面は選んだ「背景色」で満たされます。
3. Windows のクリップボード経由で「背景の画像/ブロックカラー」を貼り付けます。
例えば、「Paint」(「[Edit -> Select All](#)」, 「[Edit -> Copy](#)」から「[Text Effect](#)」の「[Edit -> Paste](#)」へ

* 「[TextBrush -> Properties](#)」か  を選択します。

「TextBrush」ダイアログウインドウが表示されます。

- ・ 望むように「TextBrush properties」を定義します。
「OK」をクリックします。
- ・ テキストボックス(ツールバーの右端)に望むテキストを記入して、「Apply」をクリックします。
- ・ テキストを貼り付けるために、画面をクリックしてドラッグします。
テキストを埋め込むには、マウスを放します。
- ・ テキストをクリアするには、「[Edit -> Undo](#)」を使います。

* テキストでペイント(書き込む)するには、「[TextBrush -> Free Flowing](#) (動かせる)」を選びます。

「[TextBrush : テキストブラシ](#)」ダイアログウインドウ :

「TextBrush」ウインドウは、並行処理ができます。

多くのオプションを選択したり、切り換える時に、「即時に・素速く」行い、リアルタイムの選択ができます。

* [Font](#) : フォント

「フォント」リストのドロップダウンをクリックして、素速くスクロールするために

キーボードの「アップ・ダウン」キーを使って、「サンプルウインドウ」で異なるフォントをリアルタイムで瞬時に展示させます。

* **Size** : サイズ

ドロップダウン「サイズ」リストをクリックして、素早くスクロールするためにキーボードの「アップ・ダウン」キーを使って、「サンプルウインドウ」で異なるテキストサイズをリアルタイムで瞬時に展示させます。

「サイズ」ボックスに直接記入することで、個別のテキストサイズを選択することもできます。

* **Depth** : 広がり ・ **Angle** : 角度 ・ **Rotate** : 回転

「サンプル」ウインドウに「リアルタイム表示」されるそれぞれのドロップダウンリストから、異なる設定をクリックします。

* **Color** : カラー

左の「カラーパレット」ボックスは前景の色で、右の「カラーパレット」ボックスは、テキストの背景色です。

「フルカラーのパレットウインドウ」を取り出すために、どちらかの「パレット」ボックスをクリックします。

両方のパレットボックスは、現在の「画面の色」を取り込むための「クリックアンドドラッグ」を持っています。

「Swaps」をクリックすると、前景と背景の色を交換します。

* **Crosshair** : 十文字照準線。


十文字カーソルは、下部の右側パネルでリアルタイムに表示される交差点がテキストの真ん中の位置を示します。

書き込む位置まで十字照準線をクリックしてドラッグします。

テキストを埋め込むにはマウスを放します。

* **Paste to Fit** : 固定するための貼り付け

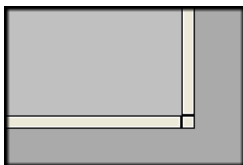
Windows のクリップボードに（例えば、「Edit -> Select All」、「Edit -> Copy」で Paint）望む背景画像をコピーします。

「Text Effect」から「Edit -> Paste to Fit」か、 をクリックします。

クリップボードの画像は、現在の「Text Effects」の画面寸法で貼り付けされます。

背景画像をレサイズするため「Edit -> Copy」し、レサイズバーで画面寸法を変更し、「Edit -> Paste to Fit」します。

* **Resize Bars** : レサイズバー



画面寸法を 拡大/縮小 するには、レサイズバー（大きさ、幅をつかみ安いこと）を使います。

リアルタイムの「サイズ読みとり」ボタン、内側パネル、調整中、

注意：正確なピクセルサイズ規格のためには、「Image -> Resize」で手動調整します。

* [TextBrushs Explained](#) :「TextBrushs : テキストブラシ」の説明。

「TextBrushs」は、既存のフォントを強調します。

4 2 のサンプル「テキストブラシ」には、すぐに製作開始するための「Text Effects」が含まれています。

「TextEffects」を最初に起動するとき、「TextBrushs」は「Start」ボタンから始めます。

[Start > Programs > Blaiz Enterprises > TextBrushs](#)

(メモ:「TextBrushs」がスタートボタンから削除されたら、それらは置き換えられません。)

・素晴らしい、衝撃的で、輝いている、新しいフォント効果を作ってください。

素晴らしいペイント効果のために、「Free Flowing : 自由描画」選択、「TextBrush > Free Flowing = ticked」を使って、「TextBrushs」で 描画/ペイントしてください。

* [Features](#) : 特徴。

・ 3D カラー陰影。

・ 90 , 180 , 270 度の回転。

・ Flip/Mirror (とんぼ返り / 鏡効果)

・ 縦書き/横書き

・ あなた自身の「[TextBrushs](#)」の製作。

「TextBrush -> Properties」を選択します。

「TextBrush」ダイアログウインドウが開きます。

「望む TextBrush」を定義して、「OK」をクリックします。

・「[TextBrush](#)」を開きます。

「Start」ボタンから開いて、「Blaiz Enterprises」で「TextBrush」を選びます。

「Open」ウインドウが表示されます。

「TextBrush」を選んで「Open」をクリックします。

「TextBrush」を Save (保存) します。

・「[TextBrush - > Save to Start Button...](#)」を選択します。

「Save As」ウインドウが表示されます。

名前をタイプして、「Save : 保存」をクリックします。

・「画像を保存」します。

「File -> Save As」を選びます。

「Save As : 名前を付けて保存」ダイアログが開きます。

名前を選んでタイプして、適切な画像フォーマットを選択します :

・ Bitmap : ビットマップ

・ Jpeg : ジェーペグ

・ Transparent Icon : 透明アイコン

・ Icon : アイコン

(アイコン透明度は、上部の左ピクセルで計算されます。)

アイコンは、幅 32 x 高 32 ピクセルに固定されます。

・ Portable Pixelmap : ポータブルピクセルマップ (バイナリー)

- ・ Portable Graymap : ポータブルグレイマップ (バイナリー/256 グレーの陰影)
- ・ Portable Bitmap : ポータブルビットマップ (バイナリー/モノクローム)
- ・ X Bitmap : Xビットマップ (モノクローム)
- ・ Text Picture : テキストピクチャー (モノクロ・64色)

「Save : 保存」をクリックします。

ノート : 「Jpeg」は、Web 画像に使うフォーマットです。

* **Print** : プリント

File > Print」を選ぶか、もし現れていたら「画像プリンター」を表示する
をクリックします。



* **Background Tip** : 背景チップ

Windows クリップボードからの背景画像のペーストは、ファイルを開くことでの利点を持たせることができます。

テキストの埋め込みを望まない背景画像の更新が必要なときの、

「改新」を始める「Edit -> Paste」が、素速く、容易にできます。

* **Command Line Parameters** : コマンドラインパラメータ。

C:\TE.EXE <Image filename> <TextBrush filename>

例えば : C:\TE.EXE C:\1.BMP C:\1.TBH

「Text Effects」は、画像「1.BMP」を開き、「Text Brush」を「1.TBH」に設定する。

* **Animated ArtCard Creations Package** と **Snappy PhotoCard Creator** の補足ツール。

- ・ **Animated ArtCard Creations Package** :

「ブロックカラーキャンバス」の「Text Effects」にテキストを作ったあと、

(すなわち、背景のように使われた画像がない)「Edit -> Copy」を選択します。

「TextEffects」からの画像テキストは、Windows のクリップボードにコピーされます。

「Animated ArtCard Creations」のメインメニューから「Animation > Paste from Still Image」を選択します。

「Text Effects」の画像テキストは、「ArtCard トランスペアーレント」に表示されます。

置くべき位置、定義されていないテキスト、あるいはスクロールして見えるテキスト / アニメーション / 画像をドラッグします。

- ・ **Snappy PhotoCard Creator** :

背景画像に「Text Effects」で テキストを作ったあと、「Edit -> Copy」を選択します。

「Snappy PhotoCard Creator」のメインメニュー「Picture-> Paste」から、

「Photo Card」の背景が、3Dテキストでクリップボードの画像を表示します。

* **License Agreement** : ライセンス協約

我々の Web サイト上の、会社名とすべてのソフトウェアプロダクトは、

Blaiz Enterprises が知的財産、著作権、登録商標を所有しています。

すべてのタイトル、著作権、知的財産権、ソフトウェアプロダクトと内容、それらに関するすべてのコピーでも、Blaiz Enterprises が所有権を持ちます。

- ・ **License** : 許可

Blaiz Enterprises は、あなたがソフトウェアプロダクトを使う権利を承認します。

あなたは、ソフトウェアプロダクトの技術を改変したり、デコンパイルや逆アセン

ブルしてはなりません。

オリジナルソフトウェアを変更するいかなる変更や試みは、致命的なエラーを起こしたり、プロダクトを不安定にする原因になります。

- ・ **Indemnity** : 損害の保障

ソフトウェアプロダクトの使用は、すべてあなた自身のリスクです。

Blaiz Enterprises は、表示されると否とに関わらず、すべての保証や条件を否認します。

Blaiz Enterprises は、ソフトウェアプロダクトの使用に当たって、使用不可能のために起きた 特別な、付帯的な、間接的であれ、重大な損害（無制限な、商用での損失の損害、利益、商用妨害、商用情報の損失、あるいはすべての金銭的な損失を含む）に対する責任を持つものではありません。

(参考資料)

- * 「 **Setting up your Webcam** : Web カメラの設定 」

「SideSaddle」で「WebCam」を動かすようにするのを待っているみなさんのためには、言わばすでに組み込み済みといえます。

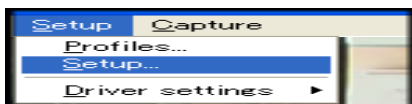
- ・まず、下の URL から ダウンロードできる「**pryme**」のような WebCam プログラムが必要です。

<http://www.hilo.dk/programming.asp?topic=pryme>

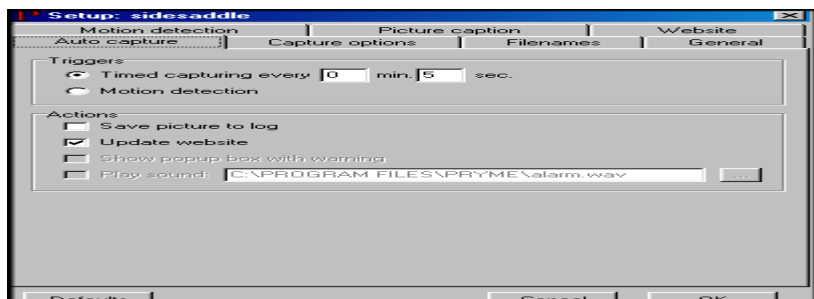
- ・「**Pryme**」は、SideSaddle で、大変うまく作動します。

しかし、それをインストールしたら、「コンフィギュア : 構成」しなければなりません。

「pryme」を起動したら、「セットアップメニュー」をクリックして、「セットアップメニュー」の選択せねばなりません。

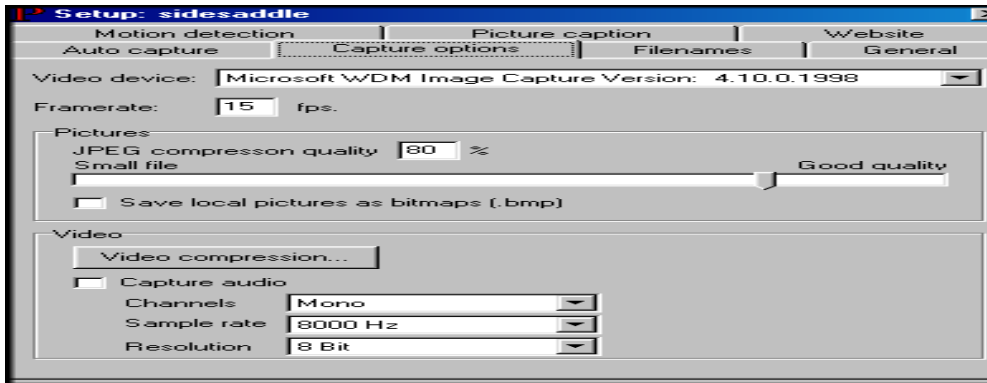


- ・下のサンプルに見られるように「プログラム」の設定をすべきです。



- ・「**Timed capturing every** : キャプチャー時間」を「5秒」ごとにセットします。

若干の「より遅いコンピューター」では、これをわずかに長くする必要があるでしょう。

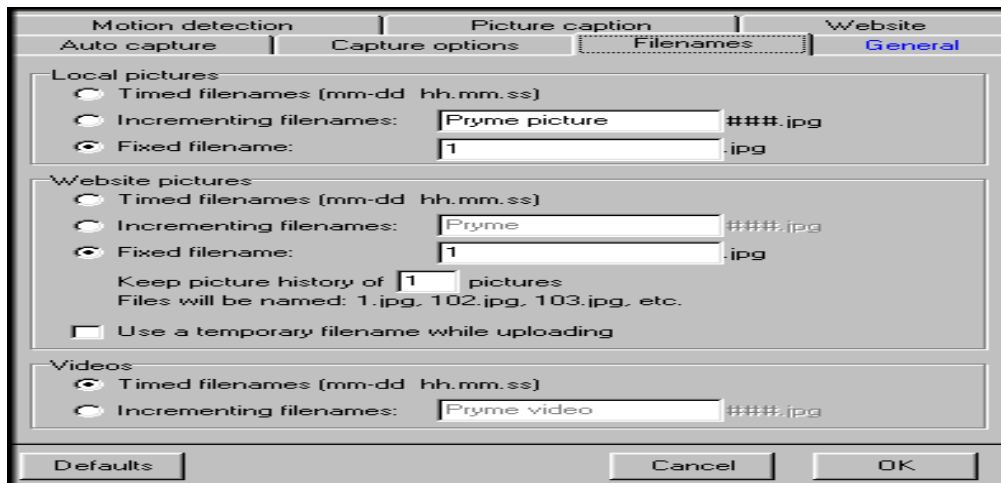


あなたの持っている「ビデオデバイス（装置）」は、上記のものと違うかもしれません。

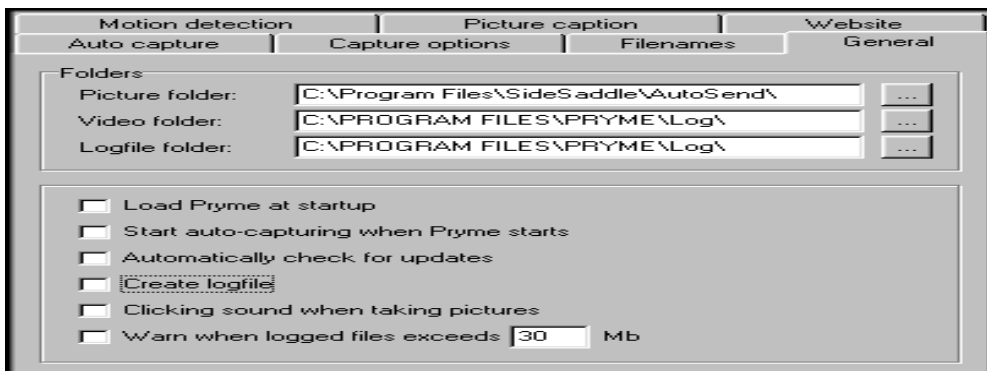
それに適したものに設定してください；

あなたのカメラでは、メインセットアップメニューで「ビデオデバイス」のいくつかの設定の必要があるかもしれません。

「WebCam」カメラとしてどのようなデバイスを使うとしても、おそらく異なるでしょう。



・あなたのページが、これのように見えることを確認してください。

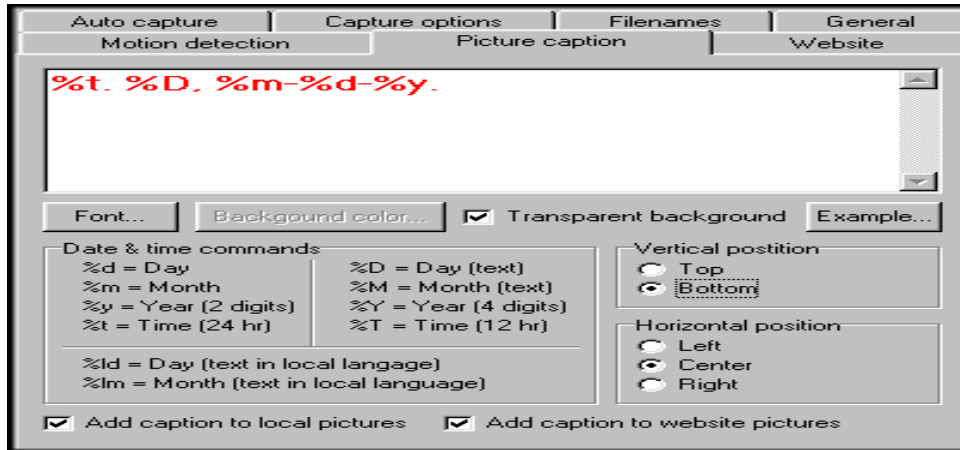


・「SideSaddle」を、デフォルトインストール以外のディレクトリにインストールしていないときは、「画像フォルダー」が上と同じであることを確認してください。

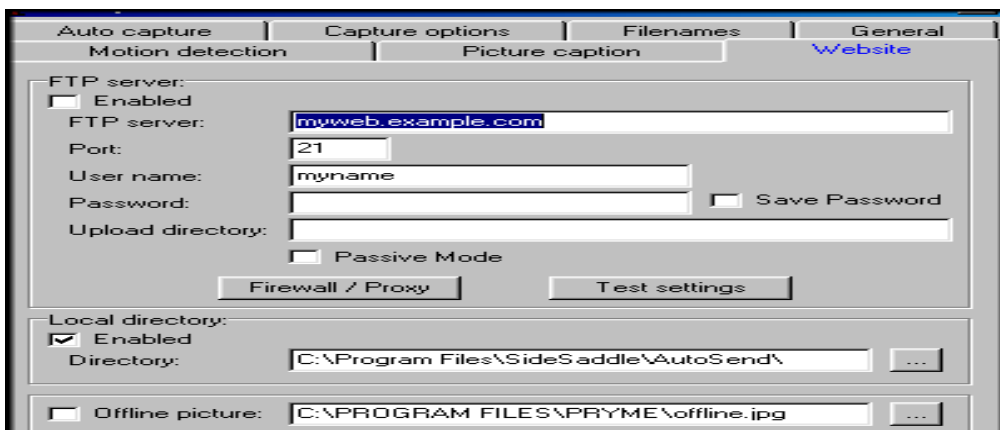
もし、他のホルダーであるときは、「SideSaddle」の「AutoSend」ディレクトリへの「パス」ポイントを確認してください。

このページは「pryme」デフォルトに設定します。

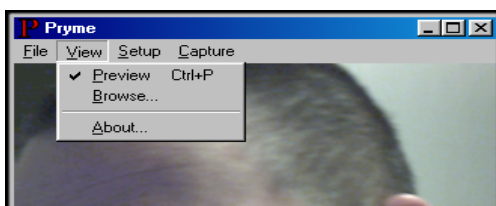
そして、「motion detection.」を使わないのであれば、変更すべきではありません。



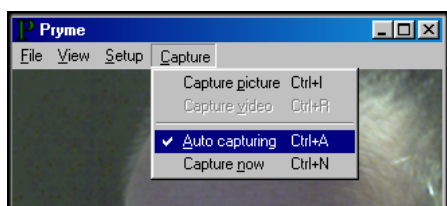
このページでは、日時のスタンプを「WebCam」画像に書き込む時に、お好みによって設定を変更できます。



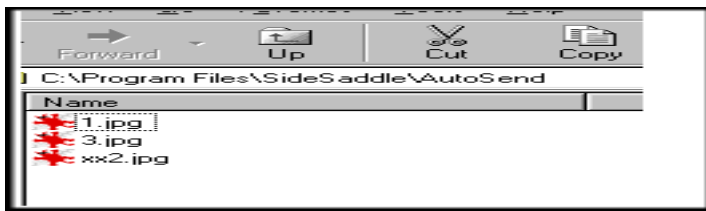
・上に見られるように、ページを設定してください。



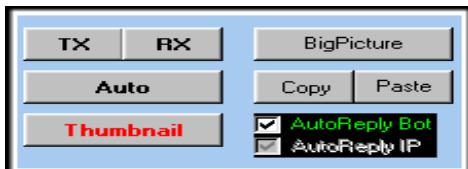
・「View Preview」がチェックされていることを確認してください。



・「pryme」を「auto capturing mode」にセットしてください。



- ・「2.JPG」の名前を「x x 2.jpg」に変えてください。
すでに「auto send mode」に戻る準備ができていれば、「2.jpg」に戻って「リネーム」してください。



- ・「sidesaddle」の「[auto reply](#)」ボックスがチェックされているかを確認してください。
誰かが画像をあなたに送ったときに、あなたの「Webcam」から最新の画像が送られます。

・「[Pryme](#)」

メモ：私は現在、「Pryme」を働かせていません。

プログラムに対するどのようなサポートも提供しません。

しかしながら、もしあなたが興味を持っているなら、最後のバージョン（1.26）はまだダウンロードが利用可能です。

古い「Pryme Web」ページは、www.hilo.dk/pryme です。

「Pryme」は、WebCam から写真をグラブして、FTP を使っているホームページに、それらをアップロードすることができます。

特徴：

FTP へのアップロード。

Motion Detection : 動作検出

Caption for images : 画像のキャプション

Image history on webpage : Web ページの画像履歴

Pryme.exe (Version 1.26, 1.103 Kb)

(以上)